

第25代専如門主

伝灯奉告法要

協賛行事のご案内

目 次

開催要項

伝灯奉告記念参拝式	P 2
初参式	P 3
結婚式	P 4
梵鐘体験	P 5
書院・飛雲閣特別公開	P 6
慶讃茶席	P 7
龍谷ミュージアム特別展	P 8・9
お茶所行事・その他	P 10
門徒推進員によるボランティア募集	P 11
伝えたい言葉メッセージ募集	P 12・13
児童・生徒作品展募集	P 14～17
本願寺音御堂 2016	P 18
大谷本廟へのご参拝	P 19
仏教青年連盟の集い	P 20

各種 応募・申込用紙

伝灯奉告記念参拝式	P 21
初参式	P 22
結婚式	P 23
梵鐘体験	P 24
慶讃茶席	P 25
門徒推進員によるボランティア募集	P 26
伝えたい言葉メッセージ募集	P 27

※その他の協賛行事や、特別行事については決定次第、順次「宗報」「本願寺新報」、
本願寺ホームページの伝灯奉告法要特設ページなどに掲載いたします。

本パンフレットは、第25代専如ご門主様の伝灯奉告法要ご修行期間中に開催される協賛行事を掲載したものであります。

パンフレットには、各種行事の実施内容、申込用紙を添付しておりますので、必要に応じご活用いただきたく存じます。

法要参拝時に、門信徒の皆様はもちろんのこと、ご縁なき方がたにも周知・ご案内のもと、本願念仏のご法義をあじわい、多くの先人により護持されてきた本願寺の歴史と文化に触れていただく機縁に、お導きくださいますようお願い申しあげます。

なお、本パンフレットは、ご要望に応じ追加送付いたしますので、行事部までお申し付けください。

< 行事部:TEL 075-371-5181(代) / FAX 075-352-5205 >

第25代専如門主 伝灯奉告法要修行期日 (全10期80日80座)

2016(平成28)年

第1期	10月 1日(土) から 10月 8日(土) まで
第2期	10月 20日(木) から 10月 27日(木) まで
第3期	11月 4日(金) から 11月 11日(金) まで
第4期	11月 18日(金) から 11月 25日(金) まで

2017(平成29)年

第5期	3月 7日(火) から 3月 14日(火) まで
第6期	3月 28日(火) から 4月 4日(火) まで
第7期	4月 11日(火) から 4月 18日(火) まで
第8期	4月 25日(火) から 5月 2日(火) まで
第9期	5月 9日(火) から 5月 16日(火) まで
第10期	5月 24日(水) から 5月 31日(水) まで

法要は1日1座(午後2時)とし、本山本願寺において修行されます。

ただし、2017(平成29)年4月18日に限り、大谷本廟において修行されます。

2016(平成28)年10月1日は団体参拝はございません。

基 本 日 程

日 程		場 所
5:30		
	開門	
6:00		
6:30	晨朝勤行	両 堂 (阿弥陀堂・御影堂)
7:00	引続き 帰敬式	御影堂
7:30		
8:00		
8:30		
9:00		
9:30		
10:00	本山周辺行事	
10:30		
11:00	境内地内行事	
11:30	休憩施設行事	
12:00		
12:30		
13:00		
	入堂	
13:45	日程説明・挨拶・布教	
14:00		
14:30	伝灯奉告法要	両 堂 (阿弥陀堂・御影堂)
15:00		
15:30	伝灯のつどい	
16:00	退出	
16:30		
17:00	引続き 帰敬式	御影堂
17:30	帰敬式後 日没勤行	両 堂 (阿弥陀堂・御影堂)
	閉門	

「伝灯奉告記念参拝式」について

① 内 容 専如ご門主様の伝灯奉告法要を記念して、参拝式を実施するほか、人生の節目や社会的な記念日など、各種お祝いの儀式に応じた参拝式を行います。

② 対 象 <<伝灯奉告記念参拝式>>

- ・ 伝灯奉告法要への複数回の参拝希望者
- ・ 離郷門信徒
- ・ 龍谷総合学園加盟校・本派保育連盟加盟団体
- ・ 一般ツアー客や観光客
- ・ その他、諸事情により伝灯奉告法要への参拝が適わなかった方がた等
- ・ 人生の節目や社会的な記念日などを機縁とするもの

例 { 住職就退任、得度等に関連する節目
金婚式、銀婚式等の結婚記念に関連する節目
還暦、古希、誕生日等の年齢に関連する節目
一般社会で行われている、七五三、百日参り、お食い初め等、子どもの記念日に関連するもの
就職、退職、快気、婚約、卒業、入学等の人生の節目に関連するもの
その他、人生の節目や社会的な記念日などお祝いに関連するもの

③ 会 場 御影堂

④ 開 催 日 伝灯奉告法要期間中の月曜日から土曜日
※2016(平成28)年10月1日、2017(平成29)年4月15日及び4月18日は行いません。

⑤ 開催時間 9:30 / 10:30 / 11:30

⑥ プログラム (1) 集 合 <<開始10分前まで>>
(2) 勤 行 <<讃仏偈>> 10分
(3) 映像放映 <<ご門主様の特別映像含む>> 5分
(4) 法 話 ※法話後、恩徳讃 10分
(5) 参拝式記念品交付 5分

※所要時間は、約30分間を予定しております。

⑦ 申込方法 (1) 所定の用紙に必要事項を記入し、行事部宛にFAXでお申込みください。
<<Fax:075-352-5205>> 申込用紙21ページ
(2) 個人での申込みも可能です。
(3) 当日の申込みは、白州境内地の休憩施設内行事部受付で行います。

⑧ 懇 志 自由懇志

⑨ 記 念 品 (1) 華葩型しおり
(2) 記念日にちなんだ記念品を交付

⑩ 問合せ先 法要 行事部

「初参式」について

- ① 内 容 はかり知れない縁によりこの世に生を受け、遇いがたい仏法に遇い、尊い人生を歩んでいただくための機縁となるお祝いと、感謝の初参式を専らご門主様の伝灯奉告法要にあわせ行います。
- ② 対 象 誕生・初参など、子どもを中心にお参りいただける方
- ③ 会 場 御影堂
- ④ 募 集 日 伝灯奉告法要期間中の日曜日
【2016(平成28)年度】5回
10月2日・10月23日・11月6日・11月20日・3月12日
【2017(平成29)年度】5回
4月2日・4月16日・4月30日・5月14日・5月28日
- ⑤ 日 程 9:30 受 付
10:00 勤 行 《讃佛偈》 ※焼香
10:15 法 話 ※法話後、恩徳讃
10:25 記 念 撮 影 ※場所:御影堂内 《ご門主様ご臨席》
10:30 記念品交付
※所要時間は、約30分間を予定しております。
- ⑥ 申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し、行事部宛にFAXでお申込みください。
《Fax:075-352-5205》
- ⑦ 懇 志 自由懇志
- ⑧ 記 念 品 (1) 子ども用 1種
(2) 保護者用 1種
(3) 記念写真(御影堂撮影:集合写真1枚)
- ⑨ 問合せ先 法要 行事部

申込用紙22ページ



「結婚式」について

- ① 内 容 み仏の御恩、いのちの尊さ大切さを家族・親族、法要参拝者、本願寺へ訪れる多くの方がたと共どもに、分かち合い、伝え合って、あらためて人生を見つめるご縁にさせていただくために、聞法の道場である阿弥陀堂で、ともに敬愛の誠をつくし報謝の大道を歩み、もって仏恩に報いていく誓いをたてる儀式、仏前結婚式を専如ご門主様の伝灯奉告法要にあわせ行います。
- ② 対 象 浄土真宗の教えをよろこばれる方
- ③ 会 場 阿弥陀堂
- ④ 実 施 日 伝灯奉告法要期間中の日曜日
【2016(平成28)年度】5回
10月2日・10月23日・11月6日・11月20日・3月12日
【2017(平成29)年度】5回
4月2日・4月16日・4月30日・5月14日・5月28日
- ⑤ 募集人数 各実施日1組
- ⑥ 時 間 11時から約1時間(予定)
- ⑦ 申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し、行事部宛にFAXでお申込みください。
《Fax:075-352-5205》
- 【受付期間】 申込用紙23ページ
- (1) 平成28年度中に実施する結婚式の受付期間
平成28年3月10日(木)より4月5日(火)まで
- (2) 平成29年度中に実施する結婚式の受付期間
平成28年5月10日(火)より5月31日(火)まで
- 注) 挙式決定のご連絡は、選考のうえ、平成28年度中の挙式は4月15日迄に、平成29年度中の挙式は6月10日迄にご通知いたします。
- ⑧ 費 用 無 料 (※衣装等のご準備ください)
- ⑨ 記 念 品 (1) 記念念珠(夫婦1組)
(交付品) (2) 記念写真(阿弥陀堂内:夫婦・集合写真各3枚)
- ⑩ 問合せ先 法要 行事部

※結婚式のお知らせは、宗報3月号・本願寺ホームページにも掲載いたしております。



「梵鐘体験」について

- ① 内 容 専如ご門主様の伝灯奉告法要期間中、法要前の厳粛な雰囲気の中、本願寺の梵鐘撞きを体験することで本願寺及び伝灯奉告法要への関心を深めていただく機縁といたします。
- ② 対 象 僧侶・門信徒を問わず、引続きお晨朝・伝灯奉告法要に参拝いただける方
- ③ 期 間 伝灯奉告法要期間
※2016(平成28)年10月1日及び2017(平成29)年4月18日は行いません。
- ④ 時 間 お晨朝(5:30) 伝灯奉告法要(13:00)
- ⑤ プログラム (1) 受付・集合(5:00 / 12:30)
(2) 梵鐘体験
(3) 記念品交付
(4) お晨朝参拝 / 伝灯奉告法要参拝
※所要時間は、お晨朝参拝時は約2時間、
伝灯奉告法要参拝時は約4時間を予定しております。
※受付・集合場所(お晨朝:聞法会館1階ロビー /
伝灯奉告法要:白州境内地の休憩施設内行事部受付)
- ⑥ 募集人数 各日・各8人
- ⑦ 申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し、行事部宛にFAXでお申込みください。
《Fax:075-352-5205》
※定員になり次第受付を終了いたします。
- ⑧ 記 念 品 梵鐘体験にちなんだ記念品を交付
- ⑨ 問合せ先 法要 行事部

申込用紙24ページ



「書院・飛雲閣特別公開」について

- ① 内 容 専如ご門主様の伝灯奉告法要の協賛行事として、本願寺の歴史と文化を感じていただくために、書院・飛雲閣の特別公開をいたします。
- ② 会 場 書院・飛雲閣
- ③ 実 施 日 伝灯奉告法要期間
※2016(平成28)年10月1日及び2017(平成29)年4月18日は行いません。
- ④ 公開時間 午前 9:00～12:30
午後 15:30～17:00
※所要時間は、約40分間を予定しております。
- ⑤ 入 場 者 拝観希望者(自由拝観)
- ⑥ そ の 他 (1)希望者にはガイドタッチペンを貸出(有料)
【日本語・英語・ポルトガル語・中国語・韓国語対応】
※貸出場所:白洲境内地の休憩施設内行事部受付
(2)本願寺出版社の特別出店
- ⑦ 問合せ先 法要 行事部



〈飛雲閣〉



〈白書院〉

「慶讃茶席」について

① 内 容 専如ご門主様の伝灯奉告法要の協賛行事として、「飛雲閣」において、本願寺の歴史と文化を感じていただくために、慶讃茶席を設けます。

② 会 場 飛雲閣

③ 実 施 日 伝灯奉告法要期間
※2016(平成28)年10月1日及び2017(平成29)年4月18日は行いません。

④ 時 間 1 回 3 0 分 で 実 施 予 定 (入 場 ～ 退 場迄)

【1回目】	9 : 0 0 ～ 9 : 3 0
【2回目】	9 : 3 0 ～ 1 0 : 0 0
【3回目】	1 0 : 0 0 ～ 1 0 : 3 0
【4回目】	1 0 : 3 0 ～ 1 1 : 0 0
【5回目】	1 1 : 0 0 ～ 1 1 : 3 0
【6回目】	1 1 : 3 0 ～ 1 2 : 0 0
【7回目】	1 2 : 0 0 ～ 1 2 : 3 0
【8回目】	1 2 : 3 0 ～ 1 3 : 0 0 (予備)

⑤ 制 限 数 1 回 約 5 0 人 (1 日 : 最 大 4 0 0 人)

⑥ 日 程 【集 合】 開始5分前まで(受付を事前に済まされた方)
【入場着席】 1 0 分間
【茶 席】 1 5 分間
【退 場】 5 分間

⑦ 茶席懇志 2, 0 0 0 円 (慶讃茶席入場券を交付します)

⑧ 受付方法 (1) 団体参拝の方々は、事前予約を行います。 **団体参拝申込用紙25ページ**
(2) 事前予約以外の方の受付は、当日午前8時45分より行います。
(3) 各席50人まで(満席になり次第受付を終了いたします。)

⑨ 受付場所 白洲境内地の休憩施設内行事部受付

⑩ 問合せ先 法要 行事部



第25代 専如門主伝灯奉告法要記念 特別展「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅰ・Ⅱ」開催

伝灯奉告法要にあわせ、**2016年9月24日スタート!**

龍谷ミュージアムでは法要を記念して、浄土真宗本願寺派と本山 本願寺が伝えてきた貴重な法宝物と、華麗な王朝文化を彩る数多くの文化財で構成する展覧会を開催します。この展覧会は法要の期日に合わせて開催し、歴代の法宝物・仏具を中心に、かつての法要の映像(昭和8年=1933年の16mmフィルム)等、数々の法要資料を展示し、親鸞聖人以来の歴代門主によって連綿と継承されてきた法灯と事績をご紹介します。

2016年度秋季特別展「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅰ」 —受け継がれる美とこころ—

会 期 2016(平成28)年9月24日(土)～11月27日(日)(60日間)

※休館日:9月26日、10月11日、17日、31日、11月14日

2017年度春季特別展「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅱ」 —守り伝える美とおしえ—

会 期 2017(平成29)年3月4日(土)～6月11日(日)(87日間)

※休館日:2017年3月6日、21日、27日、4月24日、5月8日、22日、6月5日

①「浄土真宗と本願寺の名宝」の主な展示品

さんじゅうろくにん かしゅう

国宝「三十六人家集」 平安時代後期 37帖のうち14帖 西本願寺蔵

華麗な料紙に名筆の数々、平安王朝の美意識を体現した最高傑作

平安時代に選ばれた和歌の名手36人(柿本人麻呂以下の三十六歌仙)の家集を集大成した三十六人家集のうち、**現存最古の遺品**になるのがこの西本願寺本37帖である。平安時代末期の白河上皇の頃に制作されたと考えられ、舶来の唐紙をはじめとする様々な紙に、下絵や金銀・雲母による華麗な装飾を施して料紙とし、そこに当代きっての能書家たちが流麗な筆致で和歌を書き写している。天文18年(1549)に後奈良天皇から本願寺第十世門主の証如宗主に下賜された。書と料紙に施された下絵の絵画、装飾の工芸が一体化した総合芸術で、平安貴族の美意識が如実に反映されている。今回の展覧会では、Ⅰ期・Ⅱ期合わせて14帖が展示される。



37帖のうち『忠見集』

だったんじん しゅりようず

白書院装束之間襖「韃靼人狩獵図」

紙本着色 各172.0×87.5 江戸時代 西本願寺蔵

狩野派絵師が描く狩獵図の名品！

白書院の東側に付属する装束の間の障壁画は、筆法・賦彩ともに白書院の帝鑑図などと共通し、同じく渡辺了慶の筆になるものと見られる。画題の韃靼人とは蒙古人のことをさしており、その狩獵の場面は江戸期の画派の中でも、ことに狩野派の好むところとなっている。装束之間には襖や床貼付の全面にわたって、韃靼人が狩獵に興ずる場面を詳細入念に描いており、保存も良好である。

装束之間西面 韃靼人狩獵図(部分・江戸時代)



ほきえ

重要文化財「慕帰絵」 南北朝・室町時代 10巻のうち2巻 西本願寺蔵

本願寺第3世門主 覚如宗主の生涯を描いた中世絵巻の名品！

親鸞聖人の曾孫にあたる覚如宗主(1270～1351)の生涯を描いた全10巻26段からなる絵巻。宗主は、聖人の廟所(大谷廟堂)を鎌倉末期に寺院化して本願寺と称すなど、本願寺の基礎を築いた高僧である。「慕帰絵」とは、宗主の生前を慕い、帰寂を悲しむという意味で、観応元年(1351)に制作され、絵・詞ともに当代の名手・能筆が筆を揮った。今回の展覧会では10巻のうち2巻が展観されるが、巻第7では宗主が和歌山の玉津島明神を訪れ、和歌を書き留める場面が描かれている。



巻第7 室町・文明14年(1482)
絵：藤原久信、詞：飛鳥井雅康筆

このほか、秋季・春季あわせて約400点の法宝物・学術資料が展示される予定です。ご期待ください。

② 入館料 一般 1,200(1,000)円、高校・大学生 800(600)円、
小・中学生 400(300)円【予定】

※()内は前売り・20名以上の団体料金

※伝灯奉告法要参拝者の入館料は、一律500円

③ 時間 9:30～18:00(最終入館は17:30)

④ 問合せ先 〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前)
龍谷ミュージアム TEL:075-351-2500

お茶所行事・その他

お茶所行事

布教リレー お茶所内で布教使による各15分の布教リレーを行います。
(時間 9:00～)

仏事相談 法要期間中にお茶所内に仏事相談ブースを設置します。
(時間 9:00～)

その他

伝灯奉告法要期間中の常例布教

時 間 <昼座> 12時15分から勤行、引続き30分1席
<夜座> 19時から勤行、引続き40分1席

場 所 総会所(聞法会館1階)

※晨朝の布教は、御影堂にて通常通り行います。

キャピック展 <北境内地>

矯正施設(刑務所)で、処遇及び教育の一環として製作された刑務作業製品(キャピック=心を込めた逸品)の展示販売を行います。是非、お立ち寄りください。

フェアトレード商品等販売 <北境内地>

NPO法人JIPPO(十方)は、国際貢献を目的にフェアトレード商品のスリランカ産ウバ紅茶、東ティモール産コーヒーや災害復興支援のための南相馬市小高産「菜の花オイル」を販売します。是非、お立ち寄りください。

ビハーラ総合施設パネル展 <場所:未定>

「ぬくもり」と「おかげさま」の心を大切にする「あそかビハーラ病院」と地域社会に開かれた施設「特別養護老人ホーム ビハーラ本願寺」の普段の様子や常駐する僧侶の活動について写真と動画で紹介いたします。是非、ご覧ください。

東日本大震災被災地パネル展 <場所:未定>

被災地(岩手・宮城・福島県)のパネル展並びに被災地の実情を収録した映像を放映します。是非、お立ち寄りください。

支援金の募金活動

被災されたすべての方々に寄り添い、復興支援や心のケアなどの活動をするための資金に充当する「東日本大震災支援金」の募金箱を境内各所に設置しています。何卒ご協力をお願いいたします。

門徒推進員によるボランティア募集について

- ① 目 的 伝灯奉告法要において、門徒推進員に奉仕をいただくことで、門徒と僧侶がともに参画する法要の円成をめざします。
- ② 期 日 各期法要期間
- ③ 対 象 門徒推進員
- ④ 奉仕内容 <通常時>
(1) 本願寺境内における参拝者のお出迎え・案内
(2) 書院での受付・案内
(3) その他
- ⑤ 基本日程 1 2 : 0 0 集 合(事務局より説明) ※昼食を済ませてお越してください。
1 2 : 3 0 案 内 ※随時休憩
1 6 : 0 0 解 散
- ⑥ 待 遇 (1) 傷害保険加入 ※本願寺境内地における傷害に対応
〈補償内容〉死亡・後遺障害 10,000,000円
入院保険日額 8,000円
通院保険日額 5,000円
(2) 法被貸与
※本山までの交通費・宿泊費については各自負担とし、宿泊場所が必要な場合についても各自手配をお願いします。
- ⑦ 持 参 品 式章・念珠・健康保険証・その他必要と思われる物
- ⑧ 申込方法 (1) 申込書に必要事項を記入のうえ、各期法要期日2ヶ月前までに門信徒教化部へお申込みください。
(2) 申込後、門信徒教化部より受理通知を本人宛に発送いたします。
- 申込用紙26ページ
- ⑨ 特記事項 (1) 現在治療中の病気並びに既往歴については、健康状態を把握することとで、あらかじめその対応策を講ずるために記入いただくものです。
(2) 申込みにあたっては、所属寺ご住職に必ず一言、申し添えください。
- ⑩ 問合せ先 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派宗務所
門信徒教化部
TEL:075-371-5181(代) FAX:075-351-1372

「今 あなたに 伝えたい言葉」募集

～言葉は いのちを もっている～

- ① 趣 旨** ご門主様は『伝灯奉告法要についての消息』に、「阿弥陀如来のお慈悲を聞信させていただき、その有り難さ尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。」とお示しになりました。
- また、「宗門総合振興計画」の基本方針では、念仏者の生活実践において、「次世代へのお念仏を相続する」という項目が掲げられています。
- 応募していただく「言葉」は、伝えたい人を思いながらも、まったくご縁に触れていない方を思いながらもかまいません。み教えとご縁をいただく私が、ご縁をつなぐ言葉を募集します。
- いただいた「言葉」は、次世代へのご縁づくりのために、活用させていただきたいと考えています。
- ② 募集内容** 「伝えたい言葉」を20文字以内でお書きいただき、言葉の背景(願いやエピソード)を140字以内でご説明ください。
- ③ 各 賞** 最優秀賞 1名 [商品券または図書券20万円相当]
優 秀 賞 2名 [商品券または図書券5万円相当]
入 賞 5名 [商品券または図書券1万円相当]
- ④ 募集期間** 2016(平成28)年5月～7月末日まで
- ⑤ 募集方法** 書式に合わせ、以下のいずれかの方法でご応募ください。
- (1) 郵送の場合[郵送先] 応募用紙27ページ
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派 宗務所 子ども・若者ご縁づくり推進室 まで
※手書き・パソコンどちらでも結構です。
- (2) FAXの場合[送信先]
FAX番号 075-351-1211 まで
- (3) メールの場合[送信先]
アドレス goen@hongwanji.or.jp まで
「Word」または「一太郎」にて(念のためText文書でも送信してください)
- ⑥ 応募対象者** 浄土真宗にご縁のある方であれば、年齢・プロ・アマは問いません。

⑦ 応募規約

- (1) 応募標語はオリジナルの未発表作品に限ります。
※他のコンテスト等に入選した作品や応募中の作品で、その結果が未発表のものでも応募はご遠慮ください。
- (2) 応募に際しては著作権に抵触しないことを確認してください。
※著作権について問題となった場合は応募者が責任を持って対応してください。
- (3) 応募用紙への記入事項に不備や虚偽があった場合受理できません。
- (4) 応募にかかる経費は応募者がご負担ください。
- (5) 応募作品は返却しないことをご了承ください。
- (6) 応募受付状況や発表前の審査状況、審査員に関するお問い合わせにはお答えできません。

⑧ 審査方法

「今 あなたに 伝えたい言葉」審査委員会にて審査・決定します。

⑨ 結果発表

「宗報」・「本願寺新報」及び「本願寺ホームページ」等にて発表します。
(採用者には別途通知いたします)

⑩ 作品著作权

当派は全応募作品および採用作品について以下の権利を有します。

- (1) 当派が発行する刊行物への掲載
- (2) 当派が行う宣伝、広報用の印刷物への掲載及び当派より委託を受けた第三者が企画する展示、印刷物、新聞等への掲載許可
- (3) インターネットなどの電子メディアでの使用

⑪ 個人情報の取り扱い

応募に際して取得した応募者の個人情報は、当派が管理し、また当派より委託を受けた委託先は本企画の実施運営に関わる作業のみを目的として使用いたします。個人情報は、契約に基づく委託先を別として第三者には提供いたしません。

⑫ 問合せ先

子ども・若者ご縁づくり推進室

TEL:075-371-5181(代)

メールアドレス: goen@hongwanji.or.jp



伝灯奉告法要記念 児童・生徒作品展募集要項

① 応募資格 全国の幼児・小中学生

② 応募作品 絵画、書道、作文
(※作文については小学生以上の募集といたします)

③ 応募期間 ① 前期:2016(平成28)年5月9日(月)～7月31日(日)必着
② 後期:2016(平成28)年9月1日(木)～11月30日(水)必着
※2期に分けて募集します。

④ 応募方法 出品者名簿に必要事項を記入し、作品と一緒に送付してください。
※上期期間中のみ受け付けいたします。
☆出品者名簿はコピーして使用ください

応募用紙16ページ

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所内 教化本部教化部 作品展係

⑤ 審査 応募作品は、3部門ごとに、「幼児／小学生 各学年／中学生」に
わけて審査いたします。前期・後期それぞれに審査いたします。
※入選者は、本願寺ホームページ・本願寺新報にて発表いたします。

⑥ 賞 下記の賞を3部門(絵画・書道・作文)に設けます

- (1) 最優秀賞 各学年 1名 [贈呈:賞状・副賞]
- (2) 優秀賞 各学年 3名 [贈呈:賞状・副賞]
- (3) 入選 各学年若干名 [贈呈:賞状・副賞]

※参加賞はありません。

⑦ 表彰式 2017(平成29)年1月の御正忌報恩講法要期間中にて調整中

⑧ 展示期間 ①前期入選作品 平成28年10月1日(土)～11月25日(金)
および御正忌報恩講法要期間中
②後期入選作品 平成29年 3月7日(火)～5月31日(水)

⑨ 展示場所 本願寺諸施設

絵画

課題

自由に描いてください
(ポスター、イラスト、版画も可)

規格

四つ切り(54cm×38cm)
(作品が小さい場合は、
上記サイズの台紙に貼ってください)

表現材料

水彩絵具・パステル・クレヨン
カラーペン・色紙等、
色々な身近材料

尊いご縁に出遇えた
よろこびを
作品にしましょう。
どなたでも出品
できます。



書道

課題

[小1]なも [小2]いのち
[小3]ひかり [小4]ともしび
[小5]伝える灯 [小6]豊かな心
[中学]一念喜愛心
[幼児]: 課題は自由ですが
ひらがな1文字に限ります

規格

幼児・小学生: 半紙(タテ33cm×ヨコ24cm)
中学生: 画仙紙半切4分の1
(タテ68cm×ヨコ17.5cm)

※小中学生は、作品の左端に
学年と姓名を必ず記載してください
正しく記入されていない場合、
審査の対象外となります
幼児の名前の書き方は自由です



作文

課題

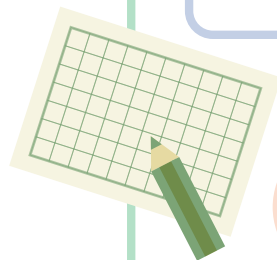
(1)私の喜びと悲しみ
(2)私の感動したこと
(3)私の願う未来

上記3つの中から選んでください。
題名は課題にそって自由に
つけてください。

字数

800文字以内
(400字づめ原稿用紙2枚以内)

※題・学校名・学年・名前を必ず
欄外に記載してください
(題名、名前は字数にカウントしません)



入選作品は、
伝灯奉告法要期間中に
展示します。ご家族、お友達を
誘って本願寺に見に
来てね。



注意事項

- ① 応募は、各部門一人1点に限ります。※別部門への応募は可能です。
- ② 作品は、平成28年に書かれたもので、未発表のものにかぎりません。
- ③ 出品者名簿は必ず、部門別・学年別にそれぞれ作成し、提出してください。
(出品者名簿は、本願寺HPからもダウンロードできます)
また、絵画、書道に出品される方は、作品に出品票(名札)をつけてください。
- ④ 応募作品は返却いたしません。
- ⑤ 入選作品は、本願寺・宗派内で使用することがありますことをご了承ください。

問合せ先

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所内(寺院活動支援部<組織教化担当>)
教化本部教化部 作品展係 TEL:075-371-5181(代)

伝灯奉告法要記念 児童・生徒作品展出品者名簿

団 体 名 (※個人の場合は記載は不要)					
担 当 者 名 (※個人の場合は保護者)					
住 所	〒				
	※所属寺がある方のみご記入ください(所属寺 教区 組 寺・坊)				
電 話	- -				

部 門 絵画 ・ 書道 ・ 作文
 学 年 幼 ・ 保 (年少 ・ 年中 ・ 年長)
 小 ・ 中 (年)

No.	名 前	※	No.	名 前	※
1			16		
2			17		
3			18		
4			19		
5			20		
6			21		
7			22		
8			23		
9			24		
10			25		
11			26		
12			27		
13			28		
14			29		
15			30		
			合 計 点		

記入にあたっての注意事項【必ずお読みください】

1. 必ず、部門別・学年別に1枚ずつご記入ください。 例)書道に小学3年と5年、絵画に5年が出品の場合→3枚必要
2. 作文は、原本とコピーにそれぞれ出品者名簿をつけてください。
3. 作品は、必ず名簿に記載の名前順に並べてご応募ください。

出品用名札書式

※「絵画」「書道」には、必ずつけてください。「作文」には、名札は必要ありません。
※コピーしてこのまま使用いただけます。

のりしろ 作品の下部中央につけてください			
題 (絵画のみ)			
団体名 または 所属寺		学 年	幼 保 小 中
ふりがな 名 前			

記入例【絵画の部】

のりしろ 作品の下部中央につけてください			
題 (絵画のみ)	私のお寺の親鸞聖人		
団体名 または 所属寺	〇〇〇〇幼稚園	学 年	幼 保 小 中
ふりがな 名 前	ほんざん きょうこ 本山 京子		

書道の場合は、題を記入する必要はありません。

該当するところに、○をつけてください。
小・中学生は右側に学年を記入してください。

個人の方は、記入する必要はありません。

「本願寺音御堂2016」について

- ① 開催趣旨 第25代専如門主伝灯奉告法要を記念し、全国で仏教讃歌に親しむ方々が一堂に会する合唱大会「本願寺音御堂2016」を開催いたします。

- ② 期 日 2016(平成28)年11月17日(木)

〈概略日程〉

11:00～ 讃歌衆受付
11:50～ 開会式・リハーサル
13:00～ 昼食・休憩
14:10～ 合唱大会



- ③ 会 場 合唱大会・リハーサル・受付：御影堂

- ④ 合唱大会
内 容 音楽礼拝—正信念仏偈による

合唱 弥陀の名号となへつつ	親鸞聖人御和讃	曲・平田聖子
娘たちよ	詞・米村竜治	曲・岩代浩一
阿弥陀仏の御名をきき	親鸞聖人御和讃	曲・平野一郎
念仏	詞・山本有希子	曲・森 琢磨
お名前よべば	詞・大谷範子	曲・高木了慧
生きる	詞・中川静村	曲・森 正隆
みほとけのおすがた	詞・片山八郎	曲・中田喜直
いのちまいにちあたらしい	詞・喜多内十三造	曲・林 秀茂

恩徳讃斉唱

- ⑤ 讃歌衆
募集人数 1200名

※讃歌衆としてご参加いただく場合には、事前申込みが必要です。
行事の詳細ならびに申込み方法等につきましては、楽譜集『本願寺音御堂2016』
(本願寺出版社より発売)綴込の開催要項・申込書をご覧ください。

※14時10分からの合唱大会は、どなたでもご自由にお聴きいただけます。
お聴きになる場合は、事前申込みや当日の受付は不要です。

- ⑥ 問合せ先 浄土真宗本願寺派総合研究所 TEL:075-371-9244

大谷本廟へのご参拝について

【参拝受付について】

① 参拝時間 9:00～18:00 ※法要期間中（開門時間 5:30 閉門時間 18:00）

② 受 付 混乱を避けるため、団参専用受付の設置を予定しています。

③ 所要時間 参拝のみ 約45分(バス乗降に要する時間を除く)
納 骨 約60分(バス乗降に要する時間を除く)

※御茶毘所へご参拝される場合は、上記お時間に20分程度要します。

※土曜日、日曜日、祝日には個人でご参拝の方も多数おられますので、
ご参拝のお時間には十分余裕をお持ちくださいますようお願いいたします。

【納骨手続について】

① 祖壇納骨について

- 所定の納骨申込用紙に必要事項をご記入のうえ、ご提出ください。
※多数の方が祖壇納骨される場合、団体用納骨申込用紙に寺院ごとに一括ご記入のうえ、お申し出ください。
- 容器には必ず法名、俗名、ご命日等を明記ください。
※法名、俗名、ご命日等の記入がないご遺骨は、受付できない場合もありますのでご注意ください。

② 無量寿堂納骨について

- 無量寿堂納骨届に必要事項を記入し、ご提出ください。
- 納骨所ごとに(寺院名義・個人名義の納骨所共に)1枚の用紙にご記入ください。
※複数の方が納骨される場合、無量寿堂団体納骨届用紙に納骨所ごとに一括ご記入のうえ、お申込みください。
- ご遺骨は、必ず事前に指定容器への入れ替えをお済ませください。
- 容器には必ず法名、俗名、ご命日等を明記ください。
※法名、俗名、ご命日等の記入がない容器、指定容器の入れ替えがお済でないご遺骨は、受付できない場合もありますのでご注意ください。

③ 永代経について

- 個人でご懇志30,000円以上のご進納は永代経扱いとさせていただきます。
- 永代経開闢法要は団体ごとに一括し、ご納骨のおつとめと併修させていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、別修永代経となるご懇志をご進納された際の永代経開闢法要は、ご希望により、後日開闢法要をおつとめいたしますのでお申し出ください。

【団参バスについて】

- バスは、指定場所にて乗降いただく予定です。詳細については決定次第お知らせいたします。
- バスは、降車後指定場所に回送し、出発時間に迎車となります。
- 参拝のご希望が集中する時間帯には、時間調整をお願いすることがありますので予めご了承ください。

問 合 せ 先 参拝教化部＜大谷本廟担当＞ TEL:075-531-4171

第25代専如門主伝灯奉告法要記念



浄土真宗本願寺派

温

故

知

新

—うけつぐ伝灯 伝えるよろこび—

浄土真宗本願寺派仏教青年連盟
結成**50**周年記念の集い

2016年**10**月**9**日(日)

会場：京都 西本願寺



仏青連盟



問合せ先 寺院活動支援部＜組織教化担当＞ TEL:075-371-5181(代)

浄土真宗本願寺派

行事部 行き

(FAX : 075-352-5205)

(ふりがな)

申込者 名 前

住 所 〒

TEL

FAX

メール
アドレス

※寺族・門信徒の場合

教区 組

寺

☐寺族

☐門信徒

伝灯奉告記念参拝式受付申込書

日時	年 月 日		☐ 9 : 30～10 : 00 ☐ 10 : 30～11 : 00 ☐ 11 : 30～12 : 00
(ふりがな)		(ふりがな)	
お名前		お名前	
(ふりがな)		(ふりがな)	
お名前		お名前	
(ふりがな)		(ふりがな)	
お名前		お名前	
(ふりがな)		(ふりがな)	
お名前		お名前	
人生の節目や社会的な記念日などのお祝いの儀式として参加する (はい ・ いいえ) ※「はい」の場合は下の「お祝いの内容」から、該当するものを選んでください			
お祝いの内容 該当するものを選び、具体的内容を () 内にご記入ください	☐ 住職就退任、得度等に関連する節目 ☐ 金婚式、銀婚式等の結婚記念に関連する節目 ☐ 還暦、古希、誕生日等の年齢に関連する節目 ☐ 一般社会で行われている、七五三、百日参り、お食い初め等、子どもの記念日 ☐ 就職、退職、快気、婚約等の人生の節目 ☐ その他、人生の節目や社会的な記念日など (具体的内容 :)		
お祝いに該当される方のお名前 (ふりがな)			

※参拝者記入欄が足りない方は、コピーをしてご利用ください。

年 月 日

浄土真宗本願寺派

行 事 部 行 き

(FAX : 075-352-5205)

(ふりがな)

申込者 名 前

住 所 〒

T E L

F A X

メー
ール
アド
レス

※寺族・門信徒の場合

教区 組

寺

☐寺族

☐門信徒

初 参 式 受 付 申 込 書

日にち	年 月 日		
(ふりがな)			
お子さまのお名前			
年 齢	歳 (ヶ月)	性 別	男 ・ 女
同行される ご家族の人数	人		
備 考			

浄土真宗本願寺派

行 事 部 行 き

(FAX : 075-352-5205)

(ふりがな)

申込者 名 前

住 所 〒

T E L

F A X

メー ル
ア ド レ ス

結 婚 式 受 付 申 込 書

日にち	年 月 日
(ふりがな) 新郎名前	
お知り合いの寺院	※浄土真宗本願寺派（西本願寺）寺院にお知り合いがおられる場合は記入ください 教 区 組 寺（市・町・村）
(ふりがな) 新婦名前	
お知り合いの寺院	※浄土真宗本願寺派（西本願寺）寺院にお知り合いがおられる場合は記入ください 教 区 組 寺（市・町・村）
申込者との関係	
申込動機	

※受付期間終了後に、選定を行い申込者に挙式内容等詳細事項のご通知をいたします。

浄土真宗本願寺派

行 事 部 行 き

(FAX : 075-352-5205)

(ふりがな)

申込者 名 前

住 所 〒

T E L

F A X

メール
アドレス

※寺族・門信徒の場合

教区 組

寺

☐寺族

☐門信徒

梵 鐘 体 験 申 込 書

希望日時	年 月 日	☐ お晨朝 (5 : 30) ☐ 伝灯奉告法要 (13 : 00)
(ふりがな) お名前		
(ふりがな) お名前		
(ふりがな) お名前		
(ふりがな) お名前		
(ふりがな) お名前		
(ふりがな) お名前		
(ふりがな) お名前		
(ふりがな) お名前		
備 考		

浄土真宗本願寺派

行 事 部 行 き

(FAX : 075-352-5205)

伝灯奉告法要団体参拝慶讃茶席申込書

参拝団体の名称		班 コース 寺・坊 参拝団	参拝日
伝灯奉告法要	教区	組	201 (平成2) 月 日
引率責任者 ふりがな		所属寺院 (組) 寺・坊	
名前		寺院番号 (- -)	
連絡先			
住 所			
T E L			
F A X			
メールアドレス			
日にち	年 月 日 ()		
時 間 (人数)	1 回目	9 : 0 0 ~ 9 : 3 0	人
	2 回目	9 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0	人
	3 回目	1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	人
	4 回目	1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0	人
	5 回目	1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0	人
	6 回目	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0	人
	7 回目	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	人
	8 回目	1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 0 0	人
	総計		人

※第25代専如門主伝灯奉告法要団体参拝申込団体のみの受付となります

※各日各席先着50人までとなっております

※1人2,000円の茶席懇志が必要となります (引率責任者が取り纏めのうえご進納ください)

伝灯奉告法要 ボランティア申込書

FAX 075-351-1372 (門信徒教化部)

所属寺	教区・特区					組	寺
(ふりがな)						年齢	歳
お名前						性別	男・女
住 所	〒						
	TEL (- -)						
希望日 (複数回希望)	第1希望 月 日 (～ 月 日) 第2希望 月 日 (～ 月 日) 注1) 連続日でのボランティアを希望される方は () 内をご記入ください 注2) 複数回ボランティアを希望される方 (例: ○月○日と○月○日) は希望日を記入し、 左欄の複数回希望に○を付してください						
備 考	※現在、治療中の病気・既往歴、常時携帯または現在服用中の薬などあればご記入ください ※一緒にボランティアを希望される方がいらっしゃる場合はその旨ご記入ください						

年 月 日

住職
寺 住職代務 印

門信徒教化部収状印

☆応募用紙

「今 あなたに 伝えたい言葉」～言葉はいのちをもっている～

●「伝えたい言葉」20 文字以内

●言葉の背景（願いやエピソード）を 140 文字以内で説明してください。

1. 応募者名 (ふりがな) _____ () 歳 (男 ・ 女)

2. 連絡先 (住所・電話番号・メールアドレス)

〒

TEL :

()

メールアドレス :

※あなたはいずれに属しますか。

一般（職種 ）・学生・宗門関係学校（教師・生徒）・教化団体（保育・少年・スカウト・
仏青・仏婦・仏壮）・門徒推進員・僧侶・寺族・門信徒・宗務員）＜複数回答可＞

問合せ先

宗門伝灯奉告法要 行事本部 行事部

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所

TEL:075-371-5181(代)／FAX:075-352-5205

メールアドレス:gyoji@hongwanji.or.jp



第25代専如門主伝灯奉告法要特設ホームページ

URL <http://www.hongwanji.or.jp/dentou/>

